

湖北圏域医療福祉ビジョン

～住み慣れた地域で、最期まで自分らしく安心して暮らせるための
在宅医療福祉の仕組みがある地域をめざして～

ビジョン策定から5年経過後の評価

平成30年(2018年)3月

医療福祉を推進する湖北地域協議会

はじめに

平成 24 年 3 月に「地域から医療福祉を考える湖北地域懇話会」において、住み慣れた地域で、最期まで自分らしく安心して暮らせるための在宅医療福祉の仕組みがある地域をめざして策定された「湖北圏域医療福祉ビジョン」は、地域の住民と医療福祉関係者がともに目指す姿、目指す方向を共有し、連携して、その実現に向けて取り組みを進めています。

10 年後を見通し策定したビジョンについて、5 年経過後の取組状況を確認し、残された期間に目指すべきところを確認するため、評価を実施しました。

これまでの 5 年の取り組みにより、市立長浜病院に回復期リハビリテーション病棟の整備、セフィロト病院に認知症疾患医療センターの開設、長浜米原休日急患診療所の開設、「びわ湖メディカルネット」、「淡海あさがおネット」の整備等、圏域に必要な機能の充実が図られました。

在宅医療サービス提供施設も増加し、他圏域と比較しても在宅医療に積極的に取り組まれています。多職種連携研修等の機会も増加し、医療・介護従事者のスキルアップとともに、在宅医療における連携が進みつつあります。

また、住民主体の認知症キャラバンメイトの活動や認知症サポーターの増加により、認知症に対する理解は進んできました。

一方、医療・介護の従事者の確保および人材育成は依然として困難な状況にあり、今後も人材確保・離職防止対策および人材育成を進めていく必要があります。

これからも高齢化が進むことが予想され、住み慣れた地域で、最期まで自分らしく安心して暮らしていくために、医療福祉のサービスだけでなく、地域全体で患者や家族を支えていくこと、また、介護を必要としない生活を送るために、自分の健康を維持するための生活習慣をもつことが重要です。

今後も、住民、医療福祉関係者、行政のそれぞれができることを確認しながら、協働し、ビジョンの実現をめざします。

ビジョンの目的

- 地域の誰もが年若い住み慣れた地域で最期まで自分らしく安心して暮らしていただけるために、今から 10 年後を見通して、保健・医療・福祉の連携による切れ目のないサービス提供ができ、地域全体で医療福祉を守り育てる地域をめざします。
- 地域の医療福祉関係者と住民がともにビジョンを共有し、連携して、その実現に向けた取り組みを進めていきます。

ビジョンの構成

- 平成 24 年 3 月に策定した湖北圏域医療福祉ビジョンの構成は次のとおりです。
 - I. 湖北圏域の医療福祉の現状
 - II. 湖北圏域の医療福祉の課題
 - III. 湖北圏域における医療福祉ビジョン
(基本的な取り組み方針)
 - IV. 基本的取り組み方針の具体化

目 次

はじめに

I. 湖北圏域の医療福祉の現状（策定から5年を経た現状）

1. 人口・高齢化の状況	1
2. 健康等の状況	3
3. 医療の状況	7
4. 介護・福祉の状況	14
5. 医療福祉連携の状況	17
6. 認知症に対する取り組みの状況	18
7. うつ・自殺の状況	18

II. 基本的取り組み方針の具体化の評価

20

I. 湖北圏域の医療福祉の現状

1 人口・高齢化の状況

(1) 人口推移

平成 27 年 10 月の国勢調査による人口は、長浜市 118,230 人、米原市 38,738 人、湖北圏域人口は 156,968 人となり、全体として減少傾向です。人口構成は、65 歳以上の増加と 15 歳未満の減少がさらに進んでいます。

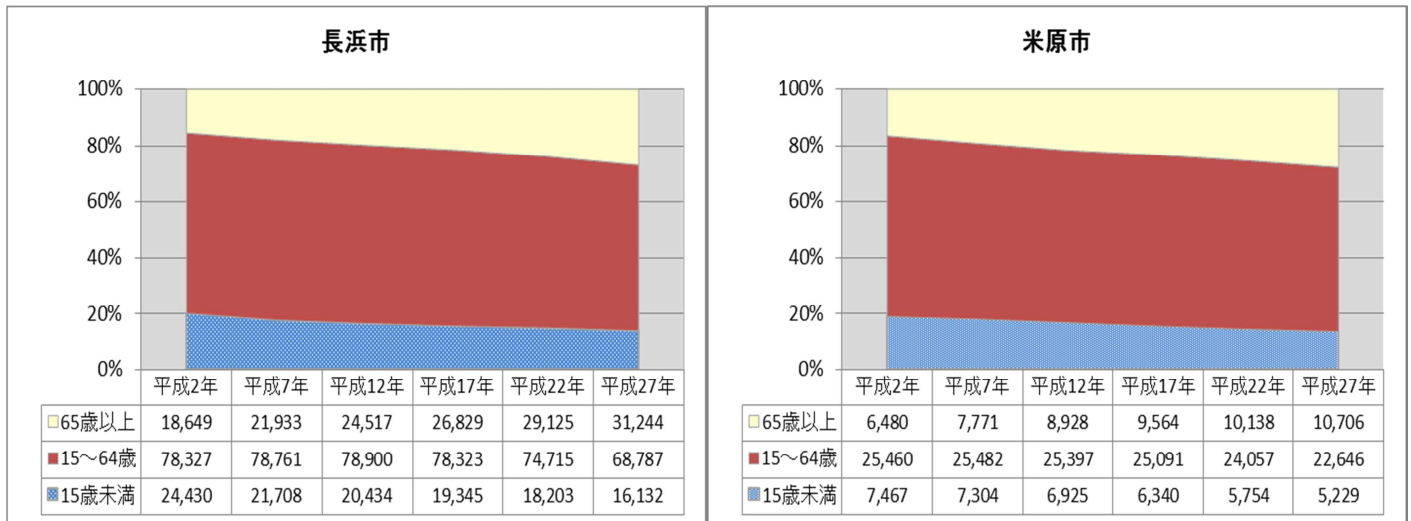


図 1-1-1-1 (1) 人口構成の推移

※表内の値の単位は「人」。長浜市は合併前の町人口を含む。

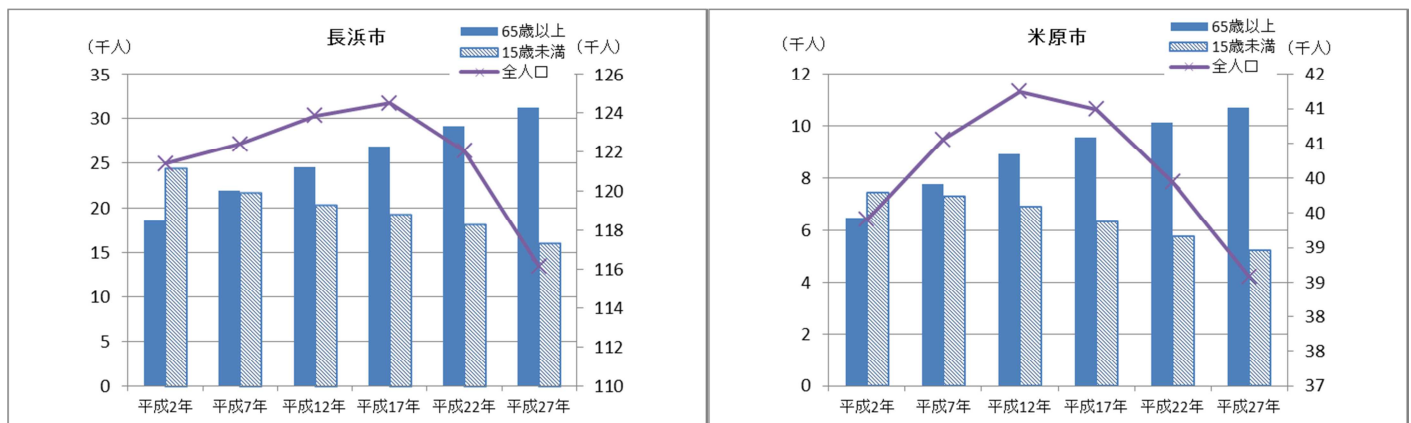


図 1-1-1-1 (2) 人口構成の推移 (15 歳未満人口および 65 歳以上人口の推移)

(2) 高齢化率

平成27年10月現在の湖北圏域における高齢化率（全人口に占める65歳以上人口の割合）は、県全体の24.2%に対し27.1%とさらに高齢化が進んでいます。

特に、長浜市北部では35%以上となっている地域もあります。

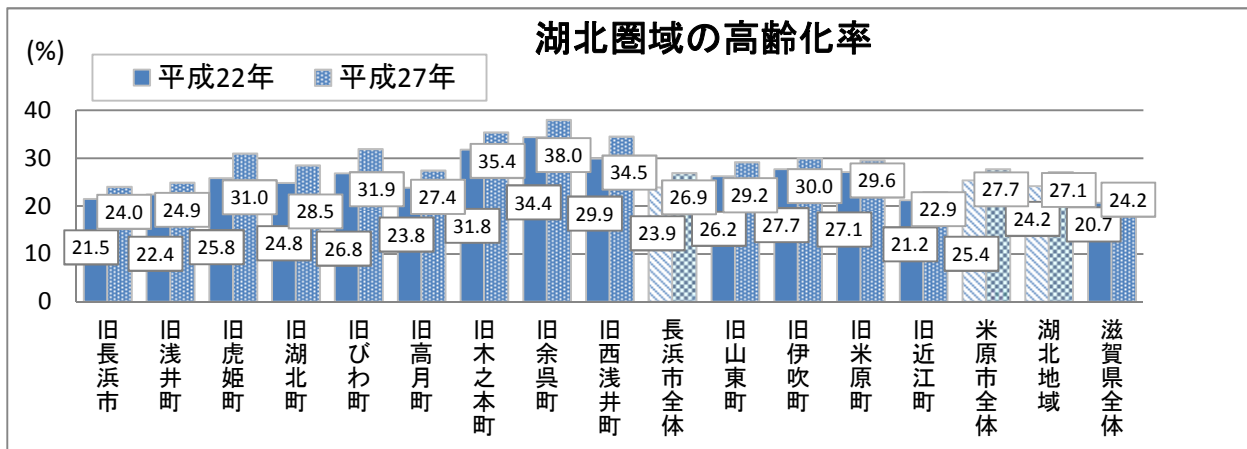


図1-1-2 湖北圏域の高齢化率

(3) 世帯の状況

平成27年10月現在、湖北圏域の全世帯のうち65歳以上の世帯員（高齢者）がいる世帯は、平成22年10月が46.6%、平成27年10月には49.7%となっています。特に、旧余呉町地域では総世帯の7割以上が、旧西浅井町地域、旧木之本町地域、旧びわ町地域、旧湖北地域および旧伊吹町地域では6割以上が高齢者のいる世帯となっています。

表1-1-1 湖北圏域の65歳以上世帯の状況（H27国勢調査から）

上段：世帯数 下段：構成割合

	世帯数	うち65歳以上世帯員がいる世帯							
		総数	世帯員1人	世帯員2人	世帯員3人	世帯員4人	世帯員5人	世帯員6人	世帯員7人以上
長浜市	42,941	19,349	3,160	5,810	3,187	2,272	2,005	1,842	1,073
		45.1	7.4	13.5	7.4	5.3	4.7	4.3	2.5
旧長浜市	23,777	8,815	1,707	2,891	1,465	942	763	691	356
		37.1	7.2	12.2	6.2	4.0	3.2	2.9	1.5
旧浅井町	3,985	1,978	253	528	301	240	270	234	152
		49.6	6.3	13.2	7.6	6.0	6.8	5.9	3.8
旧虎姫町	1,820	958	188	278	153	113	94	87	45
		52.6	10.3	15.3	8.4	6.2	5.2	4.8	2.5
旧湖北町	2,757	1,447	143	342	240	196	202	197	127
		52.5	5.2	12.4	8.7	7.1	7.3	7.1	4.6
旧びわ町	2,011	1,244	115	332	207	166	178	158	88
		61.9	5.7	16.5	10.3	8.3	8.9	7.9	4.4
旧高月町	3,453	1,617	174	400	279	212	204	214	134
		46.8	5.0	11.6	8.1	6.1	5.9	6.2	3.9
旧木之本町	2,662	1,597	312	529	253	184	133	110	76
		60.0	11.7	19.9	9.5	6.9	5.0	4.1	2.9
旧余呉町	1,165	837	164	271	130	105	69	63	35
		71.8	14.1	23.3	11.2	9.0	5.9	5.4	3.0
旧西浅井町	1,311	856	104	239	159	114	92	88	60
		65.3	7.9	18.2	12.1	8.7	7.0	6.7	4.6
米原市	12,937	6,683	997	2,028	1,180	742	722	677	337
		51.7	7.7	15.7	9.1	5.7	5.6	5.2	2.6
旧山東町	3,895	2,124	261	612	382	250	266	227	126
		54.5	6.7	15.7	9.8	6.4	6.8	5.8	3.2
旧伊吹町	1,708	1,036	149	298	177	126	104	115	67
		60.7	8.7	17.4	10.4	7.4	6.1	6.7	3.9
旧米原町	4,053	2,033	363	681	346	207	186	178	72
		50.2	9.0	16.8	8.5	5.1	4.6	4.4	1.8
旧近江町	3,281	1,490	224	437	275	159	166	157	72
		45.4	6.8	13.3	8.4	4.8	5.1	4.8	2.2
湖北合計	55,878	26,032	4,157	7,838	4,367	3,014	2,727	2,519	1,410
		46.6	7.4	14.0	7.8	5.4	4.9	4.5	2.5

2 健康等の状況

(1) 死因の状況

・平成 27 年厚生労働省人口動態統計による死因別死亡数をみると、湖北圏域（長浜保健所の死因の第一位が悪性新生物（がん）、第二位に心疾患、第三位は老衰となっています。

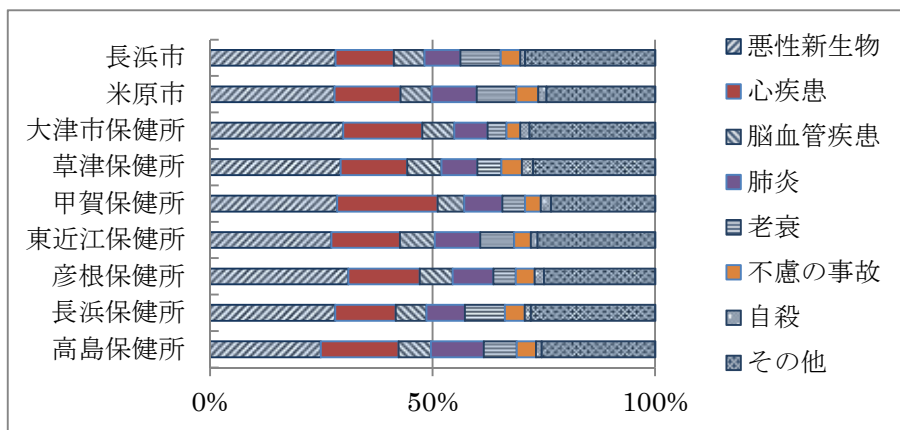


図 1-2-1 死因別死亡数の死亡総数に占める割合 (H27 人口動態統計)

・図 1-2-2 および図 1-2-3 は、平成 16 年（2004 年）～平成 25 年（2013 年）の死亡について、国を 100 とした標準化死亡比（※）でみると、湖北圏域では、男性の肺がん、女性の胃がんでの死亡が全国平均と比較して有意に高い状況が続いています。

※ 標準化死亡比 …年齢構成の違いの影響を除いて死亡率を全国と比較したものであり、主に小地域の比較に用います。標準化死亡比が基準値（100）より大きいということは、その地域の死亡状況は全国より悪いということを意味します。

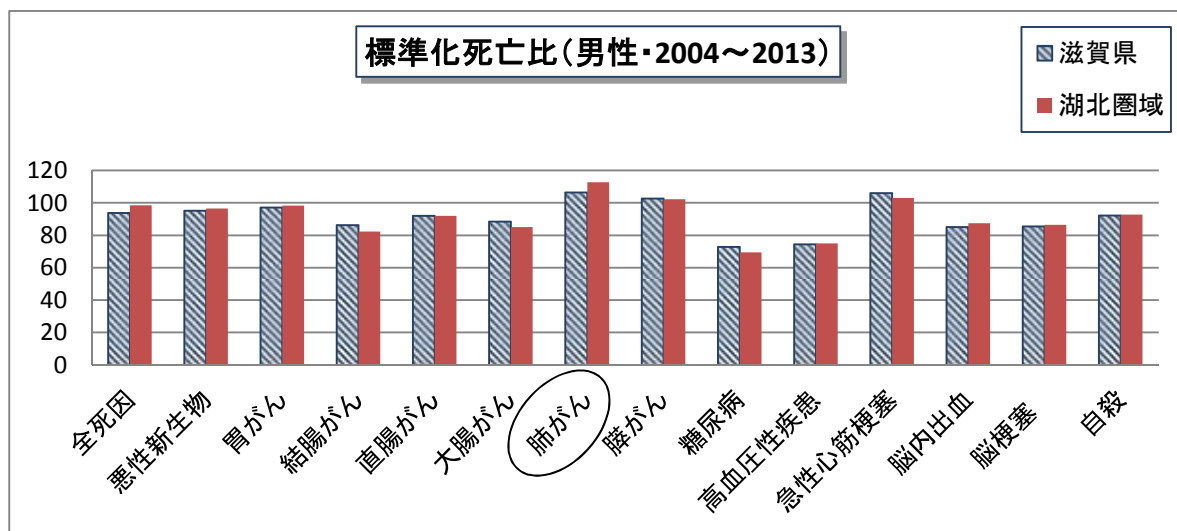


図 1-2-2 標準化死亡比（男性 2004 年～2013 年）

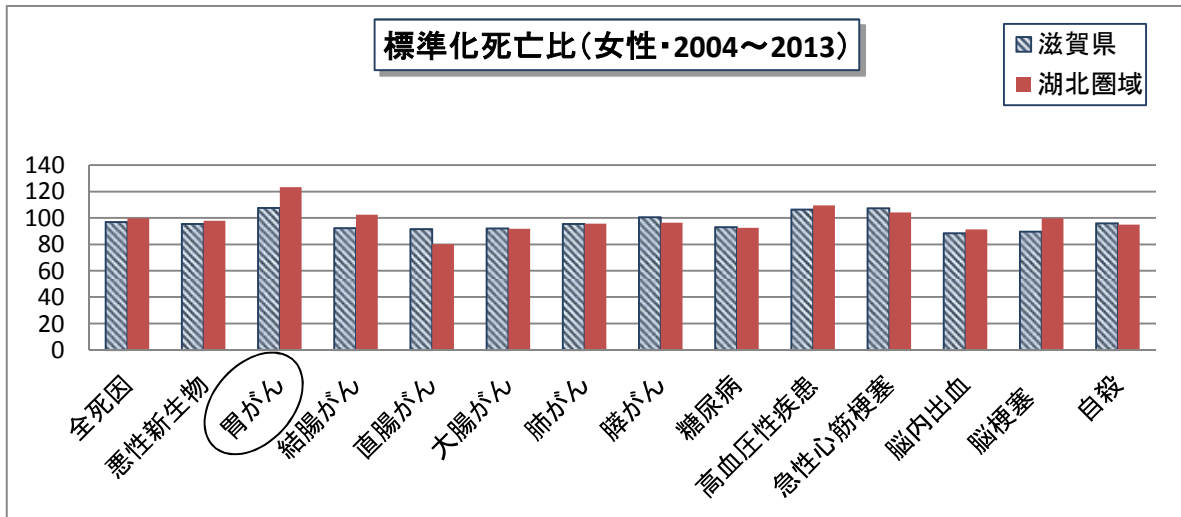


図 1-2-3 標準化死亡比 (女性 2004 年～2013 年)

(2) 健診の受診状況

ア 国民健康保険被保険者の特定健診受診率

平成 20 年度から保険者が被保険者の健康診断として特定健診を実施しています。

平成 26 年度の特定健診受診率は、全体的に向上しており、米原市が全国国保、滋賀県国保と比較し高い状況です。

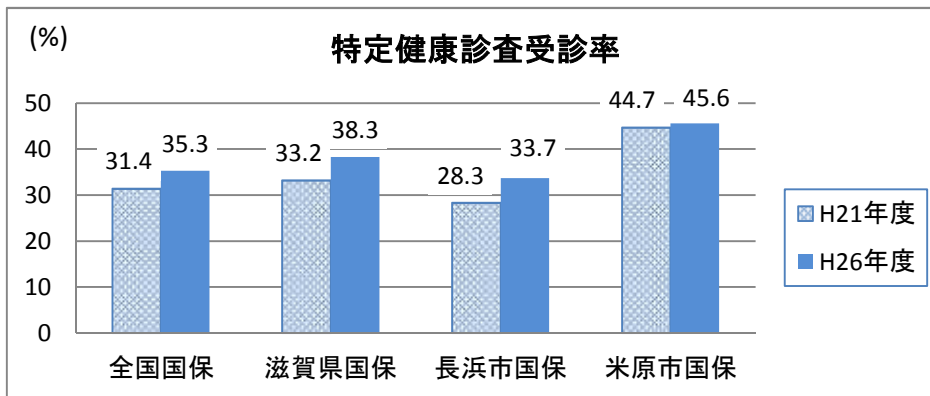


図 1-2-4 特定健康診査受診率

イ がん検診受診率 (自治体実施分)

平成 21 年に「滋賀県がん対策推進計画」が策定されて、がん検診受診率 50%以上が目標値として設定されています。

市が実施するがん検診について、平成 26 年度の検診実施状況では、長浜市のすべての項目の受診率が県受診率より低い状況です。一方、米原市においては、すべての項目の受診率が県平均よりも高く、乳がん検診においては 60%以上と高い受診率となっています。

平成 21 年度実施の「滋賀県健康・栄養マップ調査」で、職域を含む全体の受診率の傾向をみると、市町が実施する検診受診率よりも高い結果が出ています。

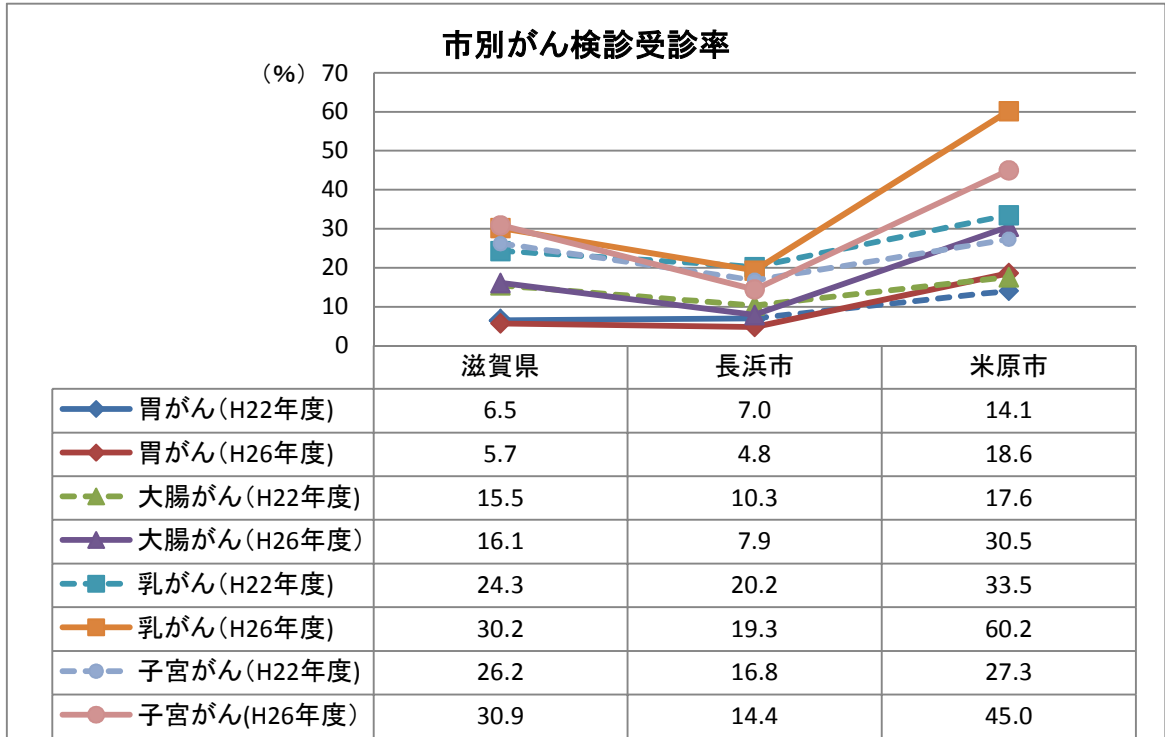


図 1 - 2 - 5 市別がん検診受診率

(3) 健康・栄養の状況

健康・栄養の状況について、平成 27 年度「滋賀の健康・栄養マップ調査」の湖北圏域の結果では、男性の肥満の割合が女性の肥満の割合よりも高い傾向があります。

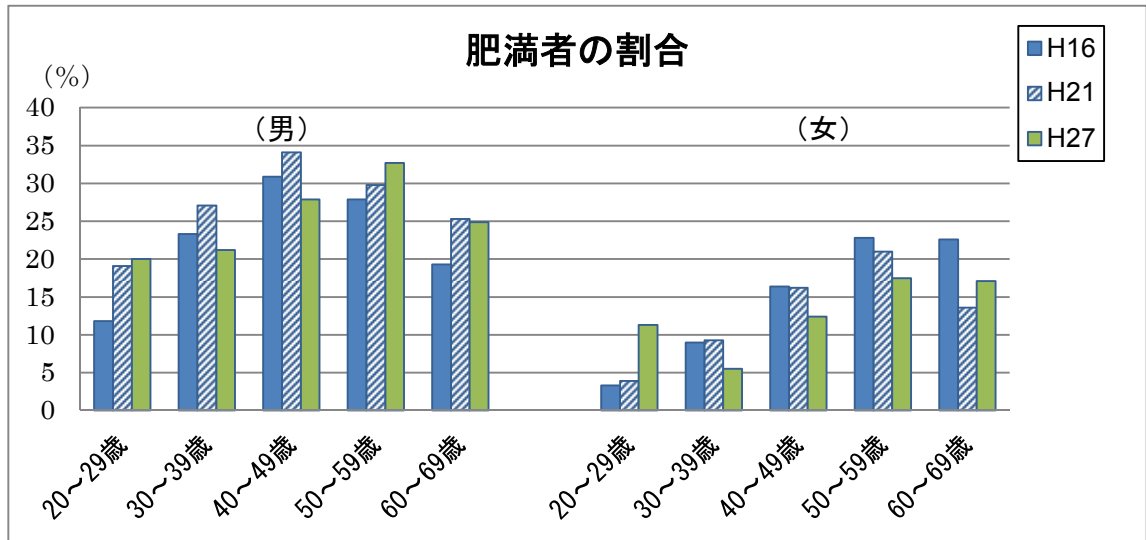


図 1 - 2 - 6 肥満者の割合

(4) 運動習慣の状況（※この項目では、県全体の状況を説明しています。）

平成 27 度「滋賀の健康・栄養マップ」調査では、「日頃健康づくりのために意識的に運動を実行しているか」という問いに対して、「継続して実行している」もしくは「時々している」と答えた人が平成 21 年度の調査より男女とも増えています。

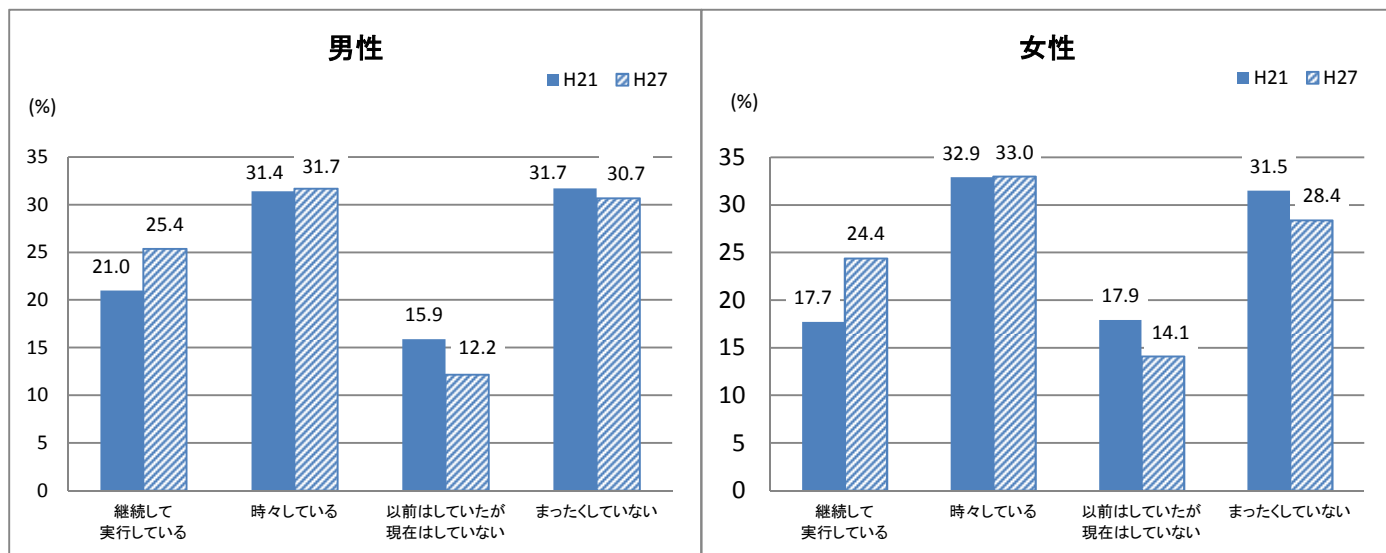


図 1-2-7 運動習慣の割合

3 医療の状況

(1) 医療関係機関の状況

ア 病院

- ・ 湖北圏域には4つの病院があり、うち1つは精神科病院です。病院の規模および特徴（病院機能）は以下のとおりです。

表1-3-1 湖北圏域の病院の病床数および機能

平成28年12月1日現在

		長浜赤十字病院	市立長浜病院	長浜市立湖北病院	セフィロト病院	病床数合計
病床数	一般病床	430	512	96	-	1,038
	療養病床	-	104	57	-	161
	感染症病床	4	-	-	-	4
	精神科病床	70	-	-	179	279
	計	504	616	153	179	1,482
病院機能	救命救急センター（三次救急）	○				
	救急告示病院	○	○	○		
	災害拠点病院	○				
	地域医療支援病院	○				
	地域周産期母子医療センター	○				
	周産期協力医療機関		○			
	小児救急輪番制参加病院	○	○			
	地域がん診療連携支援病院		○			
	滋賀県地域がん診療連携拠点病院	○				
	神経難病医療拠点病院	○	○			
	人工透析実施医療機関	○	○	○		
	第二種感染症指定医療機関	○				
	滋賀県精神科救急医療システム事業参加病院	○			○	
	へき地医療拠点病院			○		

- ・ 病院入院患者の平均在院日数は、年々減少しており、平成 27 年病院報告（厚生労働省調査）によると、一般病床においては県平均 16.4 日（全国平均 16.5 日）に対して湖北圏域では 13.2 日と県内で最も少ない日数となっています。

また、療養病床の平均在院日数では、県平均 181.8 日（全国 158.2 日）に対して湖北は 73.1 日、一般病床と療養病床を合わせた平均日数では、県平均 25.9 日（全国 29.1 日）に対して湖北圏域は 18.5 日と、いずれも県内で最も少ない日数となっています。

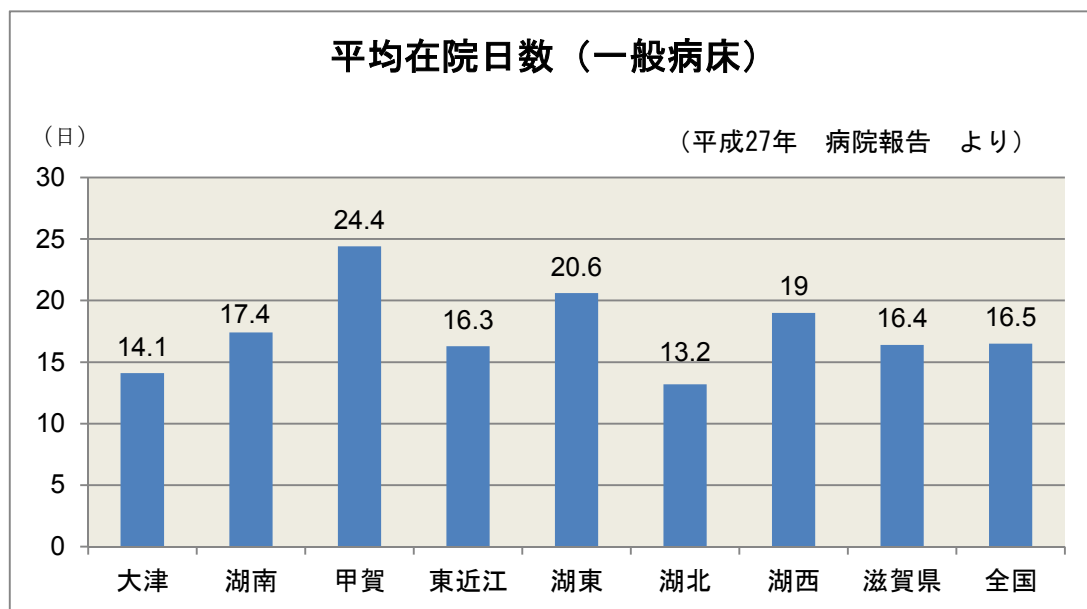


図 1-3-1 平均在院日数（一般病床）

- ・ 湖北圏域から他圏域の病院への患者流出割合は 29.6%、他圏域から圏域内の病院への患者流入割合は 16%、県平均（患者流出割合 30.2%、患者流入割合 27.8%）と比較すると、患者流入割合は低く、患者流出割合は県平均と同程度となっています。

現在、他圏域の療養病床へ患者が流れていることが患者流出の主な理由として考えられます。

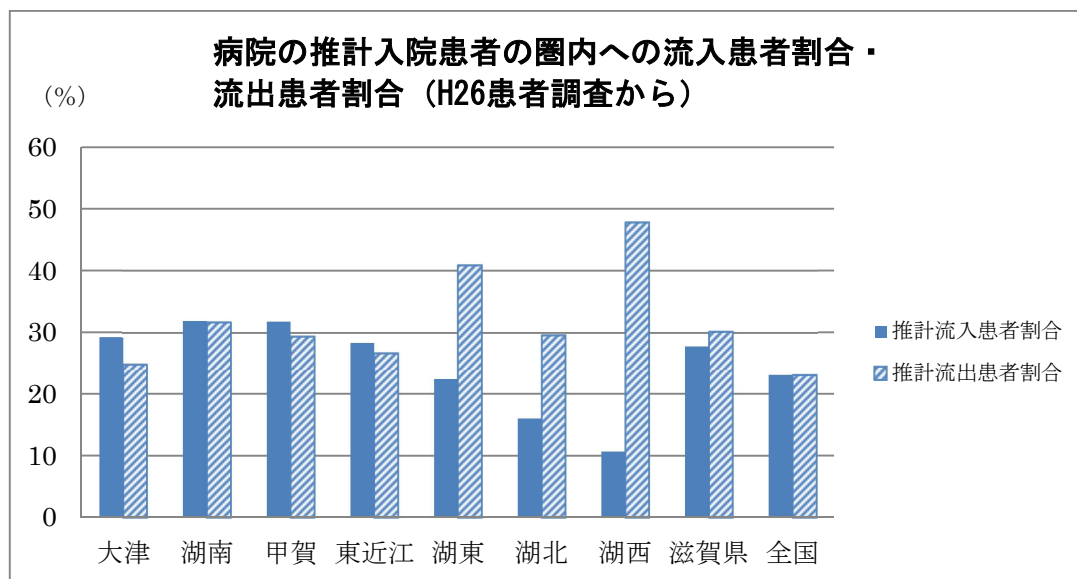


図 1-3-2 病院の推計入院患者の圏内への流入患者割合・流出患者割合

表 1-3-2 医療圏別 病院数 (H27 年 10 月 1 日現在 H27 年医療施設調査から)

医療圏	病院数				
	総数	精神科病院	一般病院	地域医療支援病院(再掲)	救急告示病院(再掲)
大津	15	2	13	2	6
湖南	13	2	11	2	6
甲賀	7	1	6	0	4
東近江	11	1	10	1	6
湖東	4	0	4	0	4
湖北	4	1	3	1	3
湖西	3	0	3	0	2
県合計	57	7	50	6	31

表 1-3-3 医療圏別 病院病床数 (H27 年 10 月 1 日現在 H27 年医療施設調査から)

医療圏	病床数							(参考) H27.10.1 人口
	総数	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	地域医療支援病院(再掲)	
大津	4,140	948	8	47	656	2,481	1,330	341,971
湖南	3,023	239	6	0	467	2,311	1,112	333,386
甲賀	1,538	407	4	0	299	828	0	145,051
東近江	2,630	406	4	16	868	1,336	407	230,703
湖東	1,299	120	4	10	245	920	0	156,098
湖北	1,460	249	4	0	161	1,046	504	159,409
湖西	410	0	4	0	100	306	0	50,294
県合計	14,500	2,369	34	73	2,796	9,228	3,353	1,416,912

- ・ 県内各医療圏域における病院の整備状況は、表 1-3-3 (病院数) および表 1-3-4 (病床数) のとおりです。病床数は、医療法の規定に基づき県が策定する保健医療計画により整備の基準となる病床数(基準病床数)が定められており、甲賀医療圏域を除く各医療圏域において、二次医療圏域ごとに定められた基準病床(一般病床および療養病床の合計病床数)を上回っている状況です。

イ 診療所

- ・ 病院が入院や手術あるいは専門の治療、検査を必要とする患者を対象に医療を提供する機関であるのに対して、診療所は、いわゆる「かかりつけ医」として住民の健康や病気の状態を把握し、必要に応じて専門の病院等に紹介する在宅での療養を支援する役割を担っています。
- ・ 湖北圏域における医科診療所は 121 か所、うち有床診療所 2 か所であり、うち内科、小児科を標ぼうする診療所は 104 か所のうち、訪問診療を行う診療所は 53 か所、うち在宅療養支援診療所は 15 か所、在宅療養支援診療所数は、人口 10 万人対では 9.4 か所で、県全体の 9.4 か所と同様の状況となっています。

- 下の表は、平成 28 年度（平成 28 年 3 月～平成 29 年 2 月）における診療所の在宅医療サービスの実施状況を示していますが、他圏域と比較しても積極的に取り組まれていることがわかります。

表 1-3-4 一般診療所の在宅医療サービス実施状況

	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	県合計
診療所数(H29.4.1現在)	290	270	92	150	117	121	39	1,079
在宅患者訪問診療 実施施設数	102	66	25	52	34	50	17	346
実施件数	23,251	13,293	2,837	10,502	4,951	10,102	2,786	67,722
訪問看護ステーションへの 指示書の交付 実施施設数	101	81	31	53	38	49	16	369
実施件数	5,196	7,044	1,941	3,874	3,148	3,431	1,762	26,396

(H28 年度中の状況 H29 年…医療機能調査から)

ウ 歯科診療所

- 湖北圏域における歯科診療所は 65 か所です。(平成 29 年 3 月) そのうち、在宅訪問歯科診療を行っている診療所は 33 か所です。湖北歯科医師会では在宅訪問診療の受付システムが整備されましたが住民へ周知が必要です。

エ 薬局

- 薬局数は 67 か所(平成 28 年度)で、医薬分業が進んだことにより、平成 17 年の 43 か所から増加しています。また薬局数の増加に伴い、薬剤師数も増加しています。
- 保険調剤を行う薬局 66 施設のうち 54 施設(81.2%)でターミナルケアに必要となる麻薬の取扱いが可能となっています。
- 一方、無菌調剤が可能な薬局は 2 施設のみです。

オ 訪問看護ステーション

- 訪問看護ステーションは 15 か所(平成 29 年 6 月現在)あり、人口 10 万人対 9.4 と県平均 6.7 や国平均 7.7 を上回っています。現在のところ、24 時間職員を配置して訪問看護を実施しているところはありますが、多くのステーションでは 24 時間の対応が行われています。

(2) 医療従事者の状況

- 管内病院常勤医師数は平成 16 年度に 183 人であったのが平成 28 年度は 186 人と増加していますが、診療科によっては常勤医師が不在となり、休診している診療科が増加しています。
- 長浜市立湖北病院では、平成 16 年度には常勤医師 26 名でしたが、平成 27 年度には 15 名となり、休診となる診療科も出ているところです。
 - また、長浜赤十字病院においても、呼吸器科、眼科で常勤医師が不在となり休診となるなどの状況が生じています。
 - さらに、平成 29 年度からは、市立長浜病院においても、消化器内科の常勤医師が不在となっています。
 - なお、平成 26 年の医師・歯科医師・薬剤師調査では、各圏域の人口規模で比較した場合、医師および薬剤師において人口規模に比べて低位にあります。(表 1-3-5)

表 1-3-5

医師・歯科医師・薬剤師 従事者数<平成 26 年医師・歯科医師・薬剤師調査 (H26.12.31 現在) から

一 二次医療圏ごとの人口構成比との比較

(単位 上段：人 下段：%)

	H28.12.1 人口	医療施設従事医師			医療施設従事歯科医師			薬局、医療施設従事薬剤師		
		総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	総数	薬局	病院・ 診療所
滋賀県	1,413,541	3,121	2,129	992	791	61	730	3,100	1,853	538
大津	341,215	1,216	932	284	214	27	187	855	525	153
	24.1	39.0			27.1			27.6		
湖南	337,091	697	442	255	188	11	177	881	498	134
	23.8	22.3			23.8			28.4		
甲賀	144,795	198	124	75	68	4	64	322	163	44
	10.2	6.3			8.6			10.4		
東近江	229,206	420	277	143	118	3	115	386	260	85
	16.2	13.5			14.9			12.5		
湖東	156,350	231	125	106	90	8	82	304	186	45
	11.1	7.4			11.4			9.8		
湖北	155,717	287	186	101	86	6	80	265	169	56
	11.0	9.2			10.9			8.5		
湖西	49,167	72	44	28	27	2	25	87	52	21
	3.5	2.3			3.4			2.8		

- また、滋賀県全体の医師、歯科医師、薬剤師従事者数が、それぞれ全国平均を下回っている状況があります。(図 1-3-3)

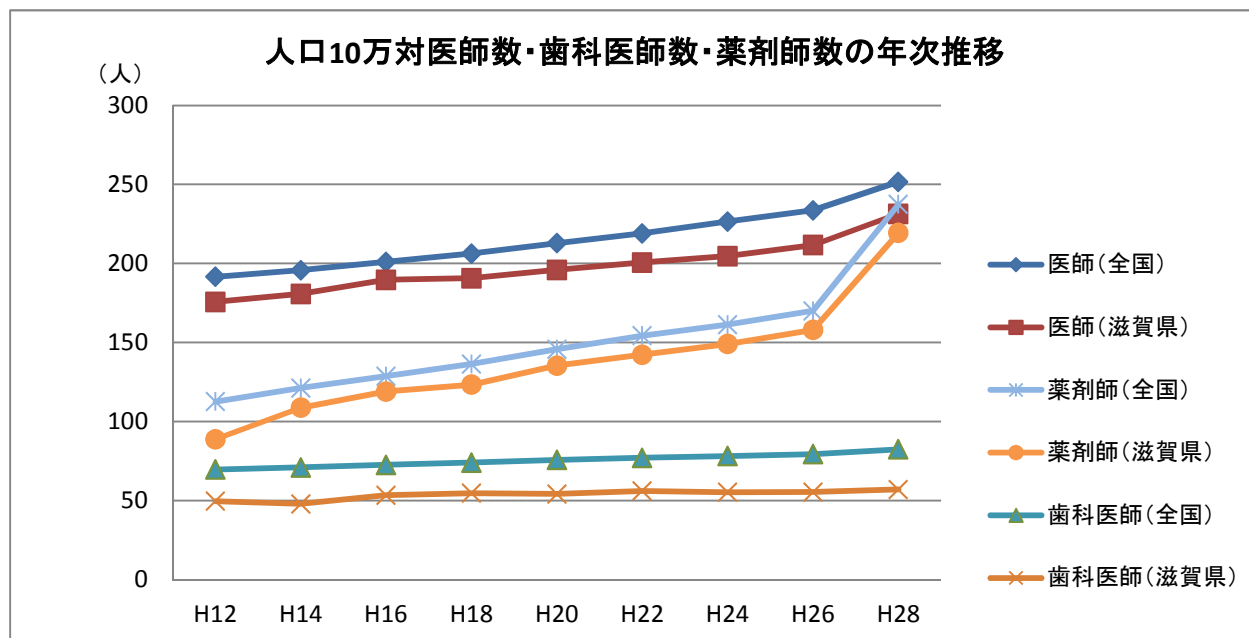


図 1-3-3 人口 10 万対医師数・歯科医師数・薬剤師の年次推移

※ 1 医師・歯科医師・薬剤師調査 (各年 12 月 31 日現在) から。

※ 2 グラフの人数は、医療施設従事医師、医療施設歯科医師および薬局・医療施設従事薬剤師の数を人口 10 万対で表している。

- ・ 医療施設に従事する医師に従事する主たる診療科ごとにとみると、診療科目により変動はあるものの、総じて大津医療圏域および湖南医療圏域に医師が集まっている状況が認められます。(表 1-3-6)

表 1-3-6 医療施設従事医師数(主たる診療科名・従業地別)

(平成 28 年 12 月 31 日現在…平成 26 年医師・歯科医師・薬剤師調査から)

	大津		湖南		甲賀		東近江		湖東		湖北		湖西		滋賀県
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
内科	153	26.5	106	18.4	44	7.6	106	18.4	61	10.6	75	13.0	32	5.5	577
呼吸器内科	24	46.2	13	25.0	2	3.8	2	3.8	7	13.5	4	7.7	0	0.0	52
循環器内科	54	35.8	35	23.2	10	6.6	26	17.2	11	7.3	10	6.6	5	3.3	151
消化器内科(胃腸内科)	75	44.1	34	20.0	12	7.1	27	15.9	10	5.9	11	6.5	1	0.6	170
腎臓内科	24	53.3	6	13.3	3	6.7	6	13.3	1	2.2	4	8.9	1	2.2	45
神経内科	23	46.9	11	22.4	4	8.2	7	14.3	0	0.0	4	8.2	0	0.0	49
糖尿病内科(代謝内科)	29	49.2	12	20.3	6	10.2	5	8.5	3	5.1	4	6.8	0	0.0	59
血液内科	17	56.7	7	23.3	1	3.3	1	3.3	2	6.7	2	6.7	0	0.0	30
皮膚科	34	43.6	16	20.5	4	5.1	10	12.8	8	10.3	5	6.4	1	1.3	78
小児科	80	35.7	58	25.9	12	5.4	30	13.4	14	6.3	24	10.7	6	2.7	224
精神科	51	39.8	30	23.4	9	7.0	14	10.9	9	7.0	15	11.7	0	0.0	128
心療内科	1	20.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	5
外科	54	33.8	29	18.1	14	8.8	25	15.6	17	10.6	17	10.6	4	2.5	160
呼吸器外科	16	45.7	5	14.3	2	5.7	7	20.0	2	5.7	3	8.6	0	0.0	35
心臓血管外科	14	42.4	7	21.2	2	6.1	5	15.2	0	0.0	4	12.1	1	3.0	33
乳腺外科	6	31.6	8	42.1	1	5.3	2	10.5	2	10.5	0	0.0	0	0.0	19
消化器外科(胃腸外科)	10	33.3	14	46.7	0	0.0	2	6.7	2	6.7	2	6.7	0	0.0	30
泌尿器科	31	39.7	13	16.7	5	6.4	11	14.1	7	9.0	9	11.5	2	2.6	78
脳神経外科	22	31.9	15	21.7	3	4.3	10	14.5	10	14.5	8	11.6	1	1.4	69
整形外科	66	31.1	53	25.0	16	7.5	29	13.7	18	8.5	20	9.4	10	4.7	212
形成外科	6	27.3	3	13.6	1	4.5	2	9.1	5	22.7	5	22.7	0	0.0	22
眼科	48	36.9	34	26.2	9	6.9	16	12.3	9	6.9	12	9.2	2	1.5	130
耳鼻いんこう科	39	39.8	28	28.6	8	8.2	9	9.2	6	6.1	6	6.1	2	2.0	98
小児外科	3	42.9	1	14.3	0	0.0	3	42.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7
産婦人科	46	41.8	26	23.6	10	9.1	12	10.9	4	3.6	11	10.0	1	0.9	110
産科	4	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0	6
婦人科	5	31.3	7	43.8	0	0.0	0	0.0	4	25.0	0	0.0	0	0.0	16
リハビリテーション科	11	39.3	12	42.9	2	7.1	2	7.1	0	0.0	1	3.6	0	0.0	28
放射線科	35	41.7	22	26.2	7	8.3	7	8.3	3	3.6	9	10.7	1	1.2	84
麻酔科	46	49.5	24	25.8	2	2.2	9	9.7	5	5.4	6	6.5	1	1.1	93
病理診断科	11	39.3	9	32.1	0	0.0	4	14.3	1	3.6	3	10.7	0	0.0	28
臨床検査科	2	50.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	4
救急科	26	68.4	8	21.1	0	0.0	4	10.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	38
H28.12.1人口	341,215	24.1	337,091	23.8	144,795	10.2	229,206	16.2	156,350	11.1	155,717	11.0	49,167	3.5	1,413,541

※ 心臓血管外科には循環器外科を含む。

- ・ 看護職員についても県全体で不足しており、特に圏域北部の医療機関や訪問看護ステーションにおいては確保が困難な状況にあります。

(3) 医療分野ごとの状況

ア 救急医療

- ・ 重篤な救急患者に対応する三次救急医療は長浜赤十字病院の救命救急センターが担い、入院治療が必要な救急患者に対応する二次救急医療は救急告示病院である市立長浜病院、長浜市立湖北病院および長浜赤十字病院が病院群輪番制(休日昼夜間)により応需体制を確保しています。
- ・ 休日夜間の小児科救急患者に対応するため「小児救急医療支援事業」により長浜赤十字病院と市立長浜病院が輪番制で対応しています。長浜市立湖北病院は、近年の医師不足のため「小児救急医療支援事業」から離脱している状況です。
- ・ 一次救急医療機関として長浜米原休日急患診療所が平成 22 年 4 月から稼働し、日曜、祝日、年末年始(休日)の内科および小児科の救急診療を担っています。平成 28 年度の患者数は 3,986 人(1日平均 56.1 人)で、うち小児科が 2,254 人(63.3%)となっています。休日の長浜米原休日急患診療所および救急指定 3 病院の利用者の割合は、年々休日急患診療所利用者割合が増加しており、これにより、軽症患者の病院救急受診に一定の減少効果が現れ、病院が本来の

二次救急医療機関としての役割を戻しつつあります。

- 救急車による救急搬送は、年々増加傾向にあり、平成 27 年中の湖北圏域内の救急出動件数は 7,051 件で、1 日の平均出動件数は約 19 件で、1 日平均搬送人員は 19 人となっています。およそ 76 分に 1 回の割合で救急車が出動し、当管内人口のおよそ 24 人に 1 人が搬送されたこととなります。

イ ヘき地医療

- 長浜市立湖北病院がへき地医療拠点病院に指定され、無医地区に準ずる地域である旧木之本町および旧余呉町内の 3 地域に巡回診療（週 1 回程度）を実施しています。しかし、長浜市立湖北病院における近年の医師不足の中で、へき地巡回診療に従事する医師確保が困難となっており、巡回診療時間の短縮もせざるを得ない状況ともなっています。

このことから、へき地医療拠点病院自体の医師確保や周辺病院からの医師派遣支援などが必要となっています。

また、へき地医療従事者の資質向上を図るため、へき地医療拠点病院群で研修体制の検討が進められています。

- 市が設置する直営診療所（圏域内 6 診療所、5 出張所）では、少人数または 1 人の医師が地域医療全般を担っていますが、ひとりであらゆる医療に応じなければならない負担感などから医師の定着が難しい現状があります。

ウ 在宅医療・在宅看取り

- 滋賀の医療福祉に関する県民意識調査（平成 29 年）では、看取りの場所として、県民の 4 割（41.9%）が自宅での看取りを望んでいましたが、平成 21 年の滋賀県政世論調査の結果から 10% 低下していました。実際の死亡場所としては、病院が約 8 割を占め、自宅死は 14.2%（平成 27 年県平均）に過ぎない現状です。そのような中で湖北圏域は、自宅死亡率 18.1%であり、悪性新生物の在宅死亡率を見ても 15.7%と県平均 10.4%を上回っています。

また、施設での死（老人保健施設・老人福祉施設）も 12.1%と県平均の 7.2%を上回っている状況です。（以上いずれも平成 28 年の値）

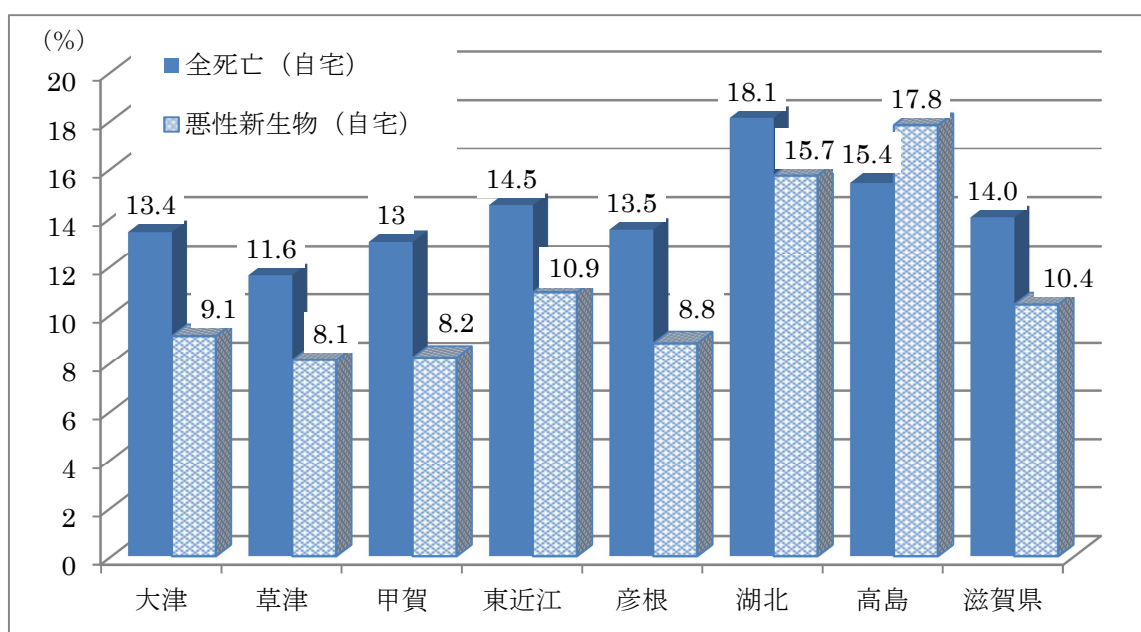


図 1-3-4 自宅死亡の割合（H28 年県平均）

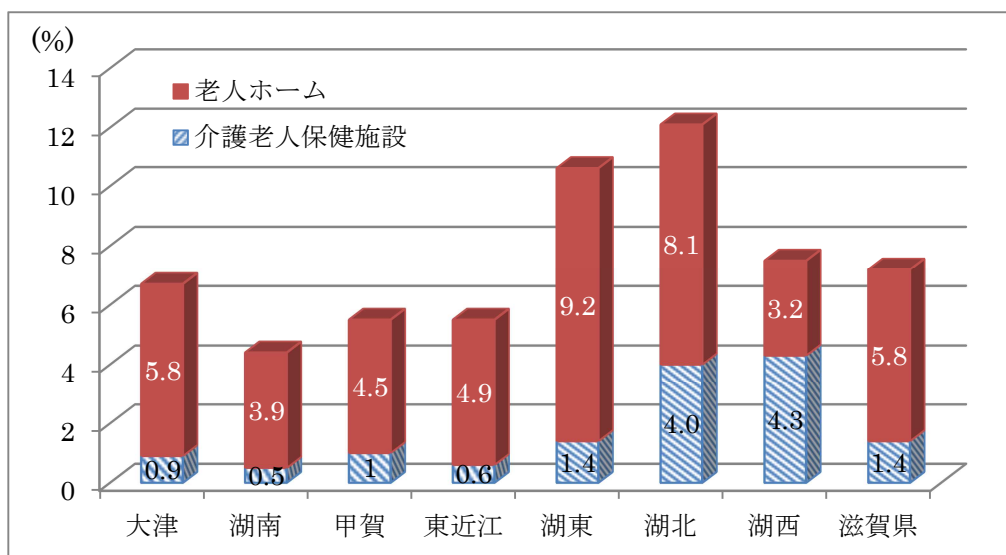


図1-3-5 H28年 死亡場所別（老人ホーム・老人保健施設）

4 介護・福祉の状況

(1) 介護保険事業

ア 要介護認定の状況

- ・ 高齢者の介護認定の状況は、圏域で高齢者 43,439 人に対し要支援認定者 1,650 人、要介護認定者 6,237 人（平成 29 年 3 月）で、認定率は 18.2%、県内で比較すると高い状況となっています。
- ・ 高齢者人口の増加とともに要介護認定者数は増加傾向にあり、特に、要介護度 2、3 の人が増加しています。

表1-4-1 県内の認定率比較

（平成 29 年 3 月）

	大津圏域	湖南圏域	甲賀圏域	東近江圏域	湖東圏域	湖北圏域	湖西圏域	滋賀県
要介護認定率	18.5%	15.8%	16.7%	15.4%	17.2%	18.2%	18.4%	17.1%

表1-4-2 湖北圏域の介護保険の状況

要介護認定者（第1号被保険者）

（平成 29 年 3 月）

区分	要支援1	要支援2	要支援計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護計	計	
長浜市	人	473	894	1,367	1,032	1,215	967	758	550	4,522	5,889
	率	8.0%	15.2%	24.5%	17.5%	20.6%	16.4%	12.9%	9.3%	75.5%	100.0%
米原市	人	75	208	283	408	471	390	266	180	1,715	1,998
	率	3.8%	10.4%	14.2%	20.4%	23.6%	19.5%	13.3%	9.0%	85.8%	100.0%
計	人	548	1,102	1,650	1,440	1,686	1,357	1,024	730	6,237	7,887
	率	6.9%	14.0%	20.9%	18.3%	21.4%	17.2%	13.0%	9.3%	79.1%	100.0%
滋賀県	人	7,119	7,801	14,920	12,793	11,391	8,665	7,064	5,104	45,017	59,937
	率	11.9%	13.0%	24.9%	21.3%	19.0%	14.5%	11.8%	8.5%	75.1%	100.0%

表1-4-3 居宅サービス施設サービスの利用割合

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度
居宅サービス	73.7%	72.9%	73.3%	73.3%	73.4%
地域密着型サービス	3.0%	3.7%	4.1%	5.3%	7.2%
施設サービス	23.3%	23.5%	22.6%	21.4%	19.4%

イ 介護保険サービスの状況

・湖北圏域における介護保険事業所の整備状況、利用状況は以下のとおりです。

表 1-4-4 湖北圏域の介護保険事業所数

(平成 29 年 7 月)

区分	種別	長浜市	米原市	合計
施設系	介護老人福祉施設	11	2	13
	介護老人保健施設	3	2	5
	地域密着型介護老人福祉施設	2	0	2
居宅系	訪問介護	29	10	39
	訪問入浴介護	5	0	5
	訪問看護	80	25	105
	訪問リハビリテーション	58	21	79
	居宅療養管理指導	160	42	202
	通所介護	34	14	48
	通所リハビリテーション	78	20	98
	短期入所生活介護	10	2	12
	短期入所療養介護	3	2	5
	特定施設入居者生活介護	1	0	1
	福祉用具貸与	9	2	11
	特定福祉用具販売	9	2	11
	地域密着型	地域密着型通所介護	19	10
認知症対応型通所介護		14	2	16
小規模多機能型居宅介護		5	2	7
認知症対応型共同生活介護		14	5	19

(みなし事業者数を含む)

表 1-4-5 湖北圏域の介護保険事業所利用者数

平成29年7月サービス利用者数

種別	長浜市	米原市	合計
介護老人福祉施設	681	214	895
(定員)	738	130	868
介護老人保健施設	390	104	494
(定員)	288	190	478
介護療養型医療施設	26	8	34
(定員)	0	0	0
訪問介護	963	326	1,289
訪問入浴介護	138	35	173
訪問看護	657	214	871
訪問リハビリテーション	24	63	87
居宅療養管理指導	370	225	595
通所介護	1,569	646	2,215
通所リハビリテーション	406	205	611
短期入所生活介護	457	137	594
短期入所療養介護	82	129	211
特定施設入居者生活介護	55	14	69
福祉用具貸与	2,313	887	3,200
認知症対応型通所介護	118	30	148
小規模多機能型居宅介護	94	42	136
認知症対応型共同生活介護	135	53	188
地域密着型特定施設	1		1

ウ 介護予防事業の状況

一般介護予防事業

すべての高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及、啓発や地域の自主的な介護予防活動の育成、支援が行われています。

(長浜市の主な取り組み)

・地域介護予防活動支援事業

住民主体の通いの場を充実するために、「高齢者活躍よりあいどころ整備及び運営」や「地域介護予防通所活動支援」の補助事業を開始し、拠点づくりや活動支援を実施しています。

また、「日常生活支援活動車両整備事業」として、移動外出支援活動に活用できる車両の貸出を行っています。

・地域リハビリテーション活動支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域の誰もが参加できる身近な介護予防の通いの場として「転倒予防教室」を立ち上げています。

転倒予防教室後に立ち上がった自主グループやサロンに対しては、自主活動が継続できるよう、講師を派遣し活動を支援しています。また、介護予防の必要性を理解してもらうとともに、自主的な運営方法に対する助言等やグループ同士の交流を深めることで今後も地域で自主活動が継続できるように支援しています。

また、市内の通所介護サービス事業所に対し、リハビリテーション専門職を派遣し、介護予防に資する取組を支援もしています。

・介護予防普及啓発活動

市民が介護予防の必要性や取り組む意義について、正しく理解し実践できるように、転倒予防、栄養、口腔などに関する出前講座を実施しています。

また、認知症の方が安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の理解や関心を深め、支援の輪を広げる目的で「市民のつどい」として講演会などを実施しています。

(米原市の主な取り組み)

・地域介護予防活動支援事業

住民主体の介護予防活動を支援するため「介護予防活動拠点運営補助」、「ご近所元気隊教室事業」など活動拠点への補助や、「歩楽ん教室」や「認知症予防プログラム」など、出前講座による転倒予防や、筋力低下防止についての取り組みを行っています。

・地域リハビリテーション活動支援事業

「元気的一步事業」として、ウォーキングの促進と栄養補助によるサルコペニア(加齢による筋肉減弱症)予防や、リハビリテーションサービス受皿の確保とサービスの充実を目指した事業所向け研修会の開催などサービス事業所の支援を行なっています。

・介護予防普及啓発事業

サルコペニア(加齢による筋肉減弱症)とフレイル(いわゆる虚弱)の予防に関する番組や、介護予防事業のPR番組を伊吹山テレビで放映しました。

また、自宅で気軽に運動できる「まいばら体操」を伊吹山テレビで放映し、運動機能の維持向上を図りました。

老人クラブや高齢者を支援する地域の団体等に対して、介護予防の必要性や取り組む意義について、正しく理解し実践できるように、転倒予防、栄養、口腔などに関する出前講座を実施しています。

エ 地域包括支援センター

高齢者に関する心配ごとや介護保険の利用についての相談を行います。また、要支援1・2と認定された人や、支援や介護が必要となるおそれが高い人の介護予防ケアプランの作成、成年後見制

度の利用促進や高齢者虐待の早期発見・防止に対する対応を行います。地域のケアマネジャーの支援や関係者との連携も進めています。

長浜市の地域包括支援センター5か所

南長浜地域包括支援センター	(長浜市朝日町)
神照郷里地域包括支援センター	(長浜市神照町)
浅井びわ湖姫地域包括支援センター	(長浜市宮部町)
湖北高月地域包括支援センター	(長浜市高月町西物部)
木之本余呉西浅井地域包括支援センター	(長浜市木之本町黒田)

米原市の地域包括支援センター2か所

米原市地域包括支援センター	(米原市長岡)
米原市米原近江地域包括支援センター	(米原市新庄)

(2) 主な高齢者福祉事業

ア 長浜市

- ・ ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で支援が必要な人を対象に、配食による見守りや安否確認を行う「見守り配食支援事業」、生命の危機が推測される人の急病、事故等の緊急事態に対処することを目的に、緊急通報端末装置を貸与し、地域住民によるネットワークを組み、緊急時の対応を行う「緊急通報システム事業」が行っています。
- ・ また、一時的に在宅生活が困難な状態にある高齢者が養護老人ホームに短期入所し、体調の調整や生活習慣の指導を受ける「生活管理指導短期宿泊事業」のほか、「訪問理美容サービス」「布団丸洗いサービス」「徘徊高齢者家族支援サービス」「屋根雪下ろし費用補助事業」などを実施しています。

イ 米原市

- ・ 在宅の高齢者、障害者等に、かかりつけ医や病気、服薬等の情報を保管するカプセルを配布して救急時の適切、迅速な医療活動を確保する「絆バトン事業」が実施されています。
- ・ 寝たきり等移送が困難な高齢者を対象に介護保険施設または医療機関への送迎を支援する「外出支援サービス事業」が行われています。
- ・ 「生活管理指導員派遣事業」「配食サービス事業」「緊急通報システム事業」、介護者が介護できないときに要介護者を預かる「地域なじみの安心事業」のほか、「訪問理容サービス事業」「寝具洗濯乾燥消毒サービス事業」「高齢者等住宅除雪費助成事業」等が行われています。

5 医療福祉の連携の状況

湖北圏域は、民間病院・後方支援病院がないことや回復期リハビリ病床が少ないこと等から、急性期の入院治療後の退院先として在宅が主であり、また、転院先として療養病床や老人保健施設が多いこと、地域の人々の意識に医療に依存する傾向が強く専門病院志向があることや、退院後も病院医師を主治医とする傾向があり、診療所かかりつけ医師との連携がされにくいという背景もあり、急性期、回復期から維持期までの間で切れ目のない医療福祉サービスが提供できるよう、個々の患者に関する情報を医療福祉スタッフで共有する診療計画表（地域連携クリティカルパス）の推進が図られてきました。

また、ケアマネジャーによるケアマネジメントを通じて、医療福祉関係者の連携のもとで最適な医療福祉サービスが提供できるよう、関係者によって「医療と介護の連携についての手引き」が作成され利用されています。

さらに、各病院における退院時カンファレンスやケアマネジャーを中心としたサービス担当者会議の充実、医療と介護の連携、地域連携関係研修会等を通して、多職種が顔を合わせて協議できる機会が作られつつあります。

また、平成 27 年度からは、多職種連携研修会（ながまい net）が開始され、医療介護関係者の顔のみえる関係づくりが進んでいます。

6 認知症に対する取り組みの状況

湖北圏域では、認知症自立度Ⅱ以上の人数は、長浜市約 3,800 人、米原市約 1,300 人とされ、高齢化の進行に伴い増加しています。

長浜市、米原市ともに、地域での認知症予防や啓発を推進する「認知症キャラバンメイト」や認知症の人や家族を地域で支援する「認知症サポーター」の養成に力をいれており、湖北圏域における認知症キャラバンメイトは 506 人、認知症サポーター養成講座の受講者数は 29,708 人（平成 28 年 12 月）に上っており、さらに養成が続けられています。また、各市の地域包括支援センター等に認知症に関する相談窓口が設けられています。

医療面においては、早期発見・早期対応のために認定されている認知症相談医が湖北圏域では 38 人、認知症サポート医も 10 人（平成 29 年 3 月）となっています。

また、家族会活動では「湖北認知症の人を支える家族の会いぶきの会」が平成 5 年から活動を開始し、名称変更等を経て、平成 29 年 8 月現在会員 20 人前後で、家族交流会・会報誌の発行・啓発等の活動が行われています。また、コープしがによる「認知症介護者のつどい」が毎月開催されるようになりました。

米原市の社会福祉協議会においても、「認知症カフェ」を開催したり「相談窓口」を設置し、認知症患者と家族の支援や認知症に関する啓発を実施しています。介護者の自主運営による認知症カフェ等も新たに開催されるようになってきましたが、開催の場は少数にとどまっています。

7 うつ・自殺の状況

本県における自殺者数は、昭和 30 年から 200 人前後で推移してきましたが、平成 15 年には 330 人に達し、平成 25 年度までは 300 人前後で推移し、その後 250 人前後に減少してきています。

湖北圏域の自殺者数は、30 人前後の状況が続いており、30 歳代と 50～60 歳代に自殺者が多い傾向があります。

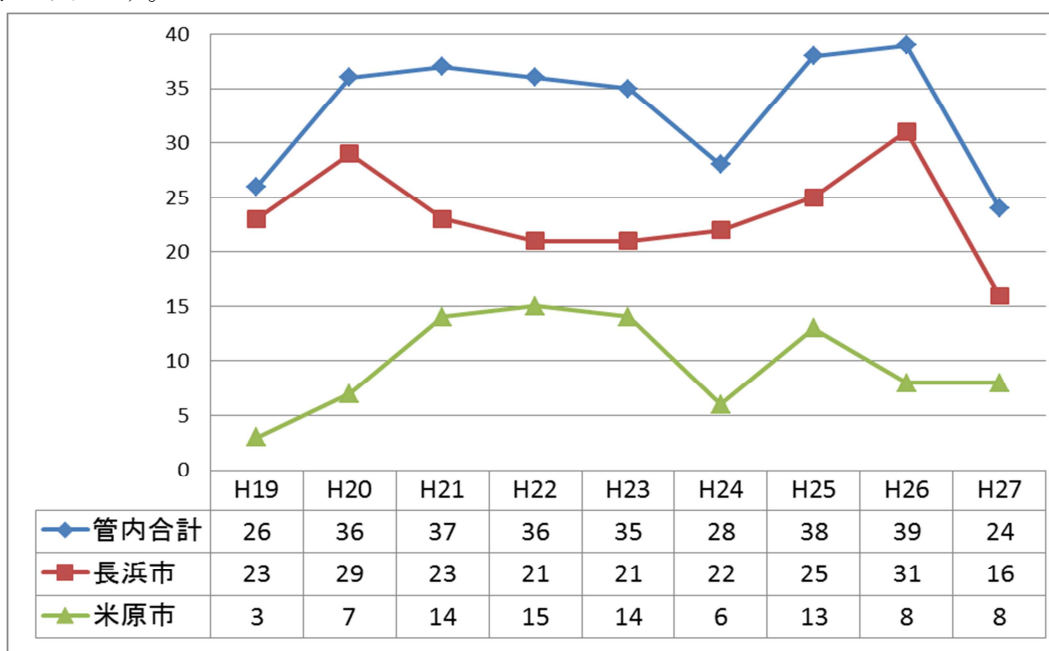


図 1-7-1 自殺死亡数の年次推移

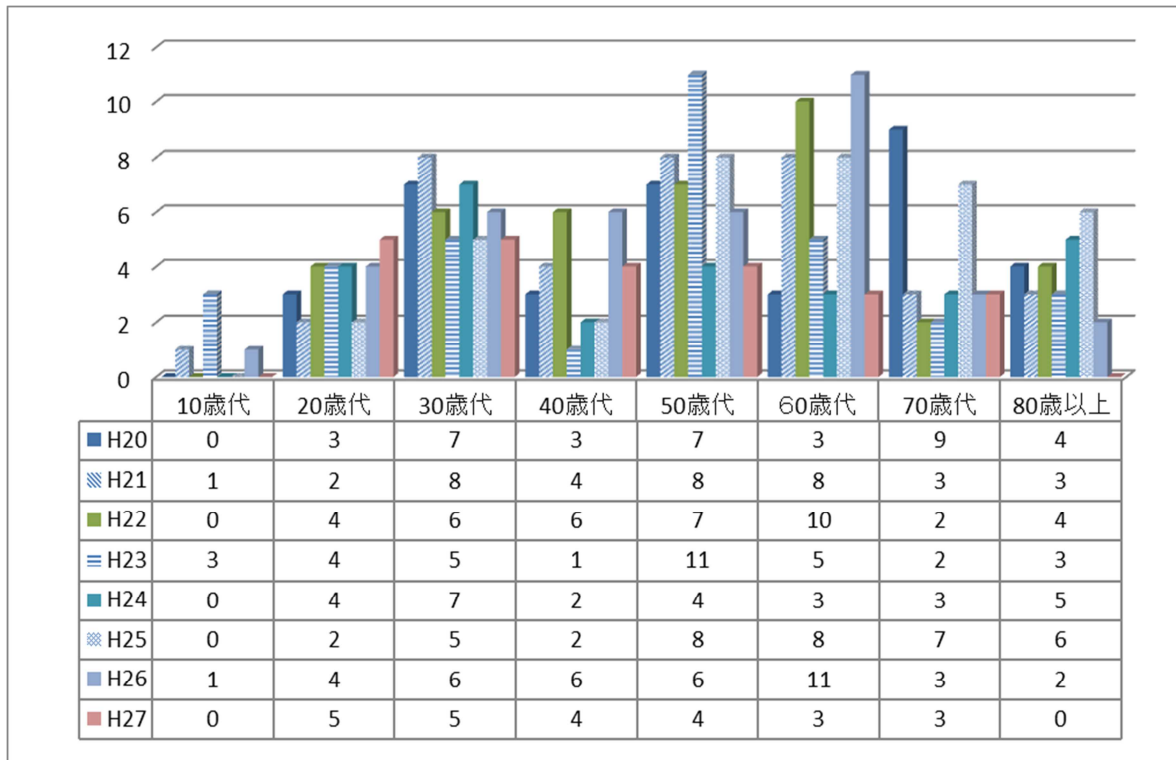


図 1-7-2 年代別自殺者数（湖北地域全体）

自殺を図った人の大多数は、様々な悩みにより心理的に追い詰められた結果、うつ病、アルコール依存症等の精神疾患を発症していると言われています。そして、不眠や原因不明の体調不良など自殺の危険を示すサインを発しています。自殺を図った人の家族や職場の同僚など身近な人は、自殺のサインに気づいていることも多く、このような気づきを自殺防止につなげていくことが重要です。